

## 伊勢神宮内宮と「おかげ横丁」

近鉄の五十鈴川駅から歩いて伊勢神宮内宮まで行き、新しくなった宇治橋を渡った。中日新聞夕刊にカラーで紹介されていたが、冬至の朝に大鳥居の真正面から昇る朝日を楽しむ「冬至祭」が行われた。

大鳥居中央から朝日が昇るのは、冬至と前後の数日しかない。22日朝は4年ぶりに好天に恵まれ、朝日とヒノキの橋が神秘的な光景を醸し出していた。



内宮の本殿まで歩いたが、やはり歴史と自然を感じさせる「神宮の森」である。再び宇治橋を渡って、おかげ横丁に行った。じつは今回の「お伊勢参り」のお目当ては、テレビで紹介されていた門前町のまちなみ、元気な商店街にある。おかげ横丁は「おはらい町」の中ほど、伊勢の名物赤福本店前にあり、お伊勢さんの「おかげ」という感謝の気持ちをもって、1993年7月に誕生した。約2700坪の敷地内には、江戸から明治にかけての伊勢路の代表的な建築物が移築・再現されている。



おかげ横丁の賑わいもよいが、おはらい町通りの景観がとくに心に残った。1989年に「伊勢市まちなみ保全条例」が制定された。条例にもとづき、店頭の修景や電柱の撤去、石畳の道への改修などが行われた。門前町の参道に景観に富んだ魅力的なまちなみが作られ、お伊勢参りとともに、おはらい町への集客を高めてきた。

(2009年12月24日 記)